

第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会報告

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
総務常務理事 芦 葉 弘 志

平成24年5月26日土曜日14:00より、埼玉会館7B会議室（住所 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4）において 第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会が行われた。

開会の挨拶に続き、会長より「公益社団法人取得後、第1回目の節目となる総会なので、活発な審議をお願いしたい」旨の挨拶があった。司会より本年度の表彰受章者の披露および表彰状の贈呈、続いて、物故者へ黙祷を捧げた。

仙波総会運営委員長より、資格審査の結果を踏まえ、出席者と委任状の合計数が定款第17条に審査し、総会が成立することを認める旨の報告がなされた。

引き続き、定款第15条の規定に則り議長選出を行い、出席者の中から梅澤達也氏が議長に選出された。第1号議案 平成23年度事業報告案、第2号議案 平成23年度決算報告案、第3号議案 平成23年度監査報告、第4号議案（その他）それぞれについて議長が説明を求め、各担当より説明が行われた。採決は、それぞれについて行われた。第1号議案から3号議案について順次賛否を諮り、各議案は承認された。

副会長の「閉会の辞」にて決算総会は閉会となった。

その後特別講演となった。特別講演は、済生会宇都宮病院 副病院長 北條昌一先生の講演であった。北條先生は、診療放射線技師であり放射線科技師長、医療技術部長、検診部長などを歴任し、数年前より副院長として病院全体の組織改革に取り組んでいる方である。講演内容の一部を上げると

1. 診療放射線技師の職業名の頭には「診療」という文字が入っている、メカニカルなことだけをするのであれば、白衣を脱いで作業服を着ればよい。
2. 血管造影では、診療放射線技師がセカンドでガイドワイヤーなどの操作を行わせている。他職種と積極的に関わり合い、これまでの仕事の枠を超え、チーム医療の構築に取り組んでいる。
3. 専門看護師は、長期で入院している患者のポータブル撮影を含め、検査オーダーを将来的に出せるようになるのではということも考えている。そうなる私達は、看護師のオーダーで仕事をしなければならなくなる。個々が緊張感を持ってもらいたい。

というものであった。今後の診療放射線技師の進むべき道を教えていただいた素晴らしい内容であった。

第1回公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定期総会議事録（案）

- 1 日 時 平成24年5月26日（土）
14：00から16：00
- 2 場 所 埼玉会館7B会議室
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-1-4
- 3 会員数 1,164名
- 4 出席者 60名
委任状提出者 630名
合 計 690名
- 5 開 会

定刻、芦葉常務理事の司会により、会長の挨拶の後、表彰者の披露および表彰状の贈呈を行い、続いて物故者へ黙祷を捧げた。

仙波総会運営委員長より、資格審査の結果を踏まえ、出席者と委任状の合計数が定款第17条に基づき本総会は成立したことを認める旨の報告がされた。

引き続き、定款第15条の規定に則り、議長選出を行い、出席者の中から梅澤達也氏が議長に選出された。議事録署名人は議長および出席した理事とした。

(1) 第1号議案 平成23年度事業報告案

このことについて、議長は説明を求めた。報告は主に会長が行い、各担当常務理事より補足説明が行われた。

公益社団法人格の取得および、平成22年度と比較し、財政の健全化ができた旨の報告があった。

(2) 第2号議案 平成23年度決算報告案

このことについて、議長は報告を求めた。財務担当常務理事が決算書をもとに詳細に報告した。

(3) 第3号議案 平成23年度監査報告

このことについて、議長は監事に対し報告を求めた。監事は本会の事業活動が計画に基づき適切に実施したと認める。また会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載していると認める。計算書類等々は財産および、収支の状態を正しく示している旨の報告をした。

議長は、第1号議案から3号議案について順次賛否を諮り、各議案は異議なく承認された。

(4) 第4号議案（その他）

「理事及び監事の報酬額の上限に関する件」について、議長は説明を求めた。詳細な説明を堀江副会長が行った。

会場から「理事の報酬額の上限は個々のものなのか、それとも理事全員の合計なのか」という質問があり、執行部から「理事全員の合計である」旨の解答があった。

議長は、この4号議案について賛否を諮り、議案は異議なく承認された。

堀江副会長の「閉会の辞」にて定期総会は閉会となった。

正 誤 表

埼玉放射線第60巻第3号総会資料にて下記の誤りがありました。訂正しお詫びいたします。

頁	項目	誤	正
11	(6) 物故者	奥田 攪、橋本 美代子、永舩 忠夫	奥田 攪、橋本 美代子、永舩 忠夫、 磯 富男
	(7) 会員の動向 (平成24年 3 月31日現在)	退会者数 83名 平成23年度末会員数 1,189名	退会者数 108名 平成23年度末会員数 1,164名
	(8) 平成23年度 賛助会員	(8)平成23年度賛助会員 22社(順不同) シーメンス旭メディテック株式会社 GEヘルスケアジャパン株式会社 東芝メディカルシステムズ株式会社 株式会社三田屋製作所 株式会社日立メディコ 株式会社メディカル・サービスT&K コニカミノルタヘルスケア株式会社 第一三共株式会社 ケアストリームヘルス株式会社 株式会社エルクコーポレーション 株式会社カイゲン 富士フィルムメディカル株式会社 株式会社鯨屋 株式会社島津製作所 日本メジフィジックス株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン エーザイ株式会社 東洋メディック株式会社 日本メドラッド株式会社 株式会社ケーアイシーメディカルシステム コヴィディエンジャパン株式会社 バイエル薬品株式会社 富士フィルムRIファーマ株式会社	(8)平成23年度賛助会員 24社(順不同) シーメンス旭メディテック株式会社 GEヘルスケアジャパン株式会社 東芝メディカルシステムズ株式会社 株式会社三田屋製作所 株式会社日立メディコ 株式会社メディカル・サービスT&K コニカミノルタヘルスケア株式会社 第一三共株式会社 ケアストリームヘルス株式会社 株式会社エルクコーポレーション 株式会社カイゲン 富士フィルムメディカル株式会社 株式会社鯨屋 株式会社島津製作所 日本メジフィジックス株式会社 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン エーザイ株式会社 東洋メディック株式会社 日本メドラッド株式会社 株式会社ケーアイシーメディカルシステム コヴィディエンジャパン株式会社 バイエル薬品株式会社 富士フィルムRIファーマ株式会社 日本放射線防禦株式会社 株式会社ドクターネット

財務諸表

自：平成23年4月 1日
至：平成24年3月31日

〒331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町2-51-39

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

財産目録
平成 24年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		金額		
(流動資産)				
	現金	1,677,843		
	普通預金	7,433,723		
	未収会費	899,000		
	未収金	420,000		
	前払金	19,090		
	仮払金	72,070		
流動資産合計			10,521,726	
(固定資産)				
その他固定資産				
	建物	7,418,267		
	什器備品	87,399		
	土地	13,155,850		
固定資産合計			20,661,516	
資産合計				31,183,242
(流動負債)				
	未払金	531,041		
	未払法人税等	126,600		
	前受金	9,000		
	預り金	23,568		
流動負債合計			690,209	
固定負債合計				0
負債合計				690,209
正味財産				30,493,033

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

貸借対照表
平成 24年 3月 31日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,111,566	8,328,755	782,811
未収会費	899,000	2,148,000	△ 1,249,000
未収金	420,000	664,500	△ 244,500
前払金	19,090	28,970	△ 9,880
仮払金	72,070	0	72,070
流動資産合計	10,521,726	11,170,225	△ 648,499
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
建物	7,418,267	8,349,155	△ 930,888
什器備品	87,399	157,857	△ 70,458
土地	13,155,850	13,155,850	0
その他固定資産合計	20,661,516	21,662,862	△ 1,001,346
固定資産合計	20,661,516	21,662,862	△ 1,001,346
資産合計	31,183,242	32,833,087	△ 1,649,845
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	531,041	585,537	△ 54,496
未払法人税等	126,600	183,500	△ 56,900
前受金	9,000	945,000	△ 936,000
預り金	23,568	22,092	1,476
流動負債合計	690,209	1,736,129	△ 1,045,920
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	690,209	1,736,129	△ 1,045,920
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	30,493,033	31,096,958	△ 603,925
正味財産合計	30,493,033	31,096,958	△ 603,925
負債及び正味財産合計	31,183,242	32,833,087	△ 1,649,845

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

収支計算書

平成 23年 4月 1日 から平成 24年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①会費収入			
正会員会費収入	11,070,000	9,927,000	1,143,000
賛助会員会費収入	575,000	575,000	0
会費収入計	11,645,000	10,502,000	1,143,000
②事業収入			
事業収入	4,240,000	3,672,000	568,000
③寄付金収入			
寄付金収入	0	200,000	△ 200,000
④雑収入			
受取利息収入	10,000	468	9,532
雑収入	180,000	1,322,473	△ 1,142,473
雑収入計	0	1,322,941	△ 1,322,941
事業活動収入計	16,075,000	5,194,941	10,880,059
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
福利厚生費支出	0	91,464	△ 91,464
旅費交通費支出	0	195,220	△ 195,220
通信運搬費支出	0	634,880	△ 634,880
消耗品費支出	0	263,908	△ 263,908
印刷製本費支出	0	2,813,769	△ 2,813,769
賃借料支出	0	1,364,824	△ 1,364,824
諸謝金支出	0	761,545	△ 761,545
委託費支出	0	153,037	△ 153,037
支払手数料支出	0	39,183	△ 39,183
会議費支出	0	656,638	△ 656,638
雑支出	0	376,750	△ 376,750
事業費支出計	9,900,000	7,351,218	2,548,782
②管理費支出			
役員報酬支出	0	103,600	△ 103,600
給料手当支出	1,150,000	1,089,876	60,124
福利厚生費支出	380,000	411,715	△ 31,715
会議費支出	1,000,000	491,317	508,683
交際費支出	160,000	170,640	△ 10,640
旅費交通費支出	300,000	276,536	23,464
通信運搬費支出	470,000	785,972	△ 315,972
消耗品費支出	450,000	394,404	55,596
修繕費支出	40,000	9,870	30,130
印刷製本費支出	0	8,915	△ 8,915
光熱水料費支出	200,000	168,338	31,662
賃借料支出	0	1,626,643	△ 1,626,643
保険料支出	130,000	149,100	△ 19,100
諸謝金支出	900,000	1,000,505	△ 100,505
租税公課支出	120,000	119,500	500
支払手数料支出	300,000	257,971	42,029
貸倒償却	0	753,000	△ 753,000
雑支出	50,000	3,900	46,100
管理費支出計	5,650,000	7,821,802	△ 2,171,802
③その他の支出			
法人税、住民税及び事業税	0	126,500	△ 126,500
事業活動支出計	15,550,000	15,299,520	250,480
事業活動収支差額	525,000	397,421	△ 397,421
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	2,000,000	0	2,000,000
投資活動収支差額	△ 2,000,000	0	△ 2,000,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出			
予備費支出	42,000	-	0
当期収支差額	△ 1,517,000	397,421	△ 1,914,421
前期繰越収支差額	1,517,000	9,434,096	△ 7,917,096
次期繰越収支差額	0	9,831,517	△ 9,831,517

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

正味財産増減計算書

平成 23年 4月 1日 から平成 24年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	9,927,000	10,611,000	△ 684,000
賛助会員受取会費	575,000	575,000	0
受取会費計	10,502,000	11,186,000	△ 684,000
事業収益			
事業収益	3,672,000	3,443,000	229,000
受取寄付金			
受取寄付金	200,000	200,000	0
雑収益			
受取利息	468	874	△ 406
雑収益	1,322,473	226,400	1,096,073
雑収益計	1,322,941	227,274	1,095,667
経常収益計	15,696,941	15,056,274	640,667
(2) 経常費用			
事業費			
福利厚生費	91,464	1,312,760	△ 1,221,296
旅費交通費	195,220	0	195,220
通信運搬費	634,880	0	634,880
減価償却費	483,329	0	483,329
消耗品費	263,908	0	263,908
印刷製本費	2,813,769	0	2,813,769
賃借料	1,364,824	466,404	898,420
諸謝金	761,545	0	761,545
委託費	153,037	0	153,037
支払手数料	39,183	1,735,337	△ 1,696,154
会議費	656,638	4,067,799	△ 3,411,161
連絡費	0	150,060	△ 150,060
調査事業費	0	127,872	△ 127,872
公共事業費	0	680,205	△ 680,205
表彰費	0	104,220	△ 104,220
地区会連絡調整費	0	476,400	△ 476,400
雑費	376,750	0	376,750
事業費計	7,834,547	9,121,057	△ 1,286,510
管理費			
役員報酬	103,600	103,600	0
給料手当	1,089,876	1,049,946	39,930
福利厚生費	411,715	0	411,715
会議費	491,317	862,059	△ 370,742
交際費	170,640	180,435	△ 9,795
旅費交通費	276,536	92,619	183,917
通信運搬費	785,972	592,840	193,132
減価償却費	511,546	1,035,308	△ 523,762
消耗什器備品費	0	201,656	△ 201,656
消耗品費	394,404	266,712	127,692
修繕費	9,870	26,670	△ 16,800
印刷製本費	8,915	0	8,915
光熱水料費	168,338	211,452	△ 43,114
賃借料	1,626,643	0	1,626,643
保険料	149,100	145,940	3,160
諸謝金	1,000,505	0	1,000,505
租税公課	119,500	116,600	2,900
支払手数料	257,971	254,231	△ 661,829
貸倒償却	753,000	0	753,000
業務委託費	0	919,800	△ 254,231
総会費	0	310,060	△ 310,060
雑費	3,900	116,027	△ 112,127
管理費計	8,333,348	6,485,955	1,847,393
経常費用計	16,167,895	15,607,012	560,883
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 470,954	△ 550,738	79,784
当期経常増減額	△ 470,954	△ 550,738	79,784

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
その他の経常外費用			
固定資産除却損	6,471	118,662	△ 118,662
徴収不能額	0	85,000	△ 85,000
その他の経常外費用計	0	203,662	△ 203,662
経常外費用計	6,471	203,662	△ 197,191
当期経常外増減額	△ 6,471	△ 203,662	197,191
税引前当期一般正味財産増減額	△ 477,425	△ 754,400	276,975
法人税、住民税及び事業税	126,500	192,200	△ 65,700
当期一般正味財産増減額	△ 603,925	△ 946,600	342,675
一般正味財産期首残高	31,096,958	32,043,558	△ 946,600
一般正味財産期末残高	30,493,033	31,096,958	△ 603,925
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	30,493,033	31,096,958	△ 603,925

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産

1. 平成19年3月31以前に取得したもの

旧定額法

2. 平成19年4月1日以後に取得したもの

定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	22,042,760	14,624,493	7,418,267
什器備品	1,741,030	1,653,631	87,399
小計	23,783,790	16,278,124	7,505,666
合計	23,783,790	16,278,124	7,505,666

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には現金預金、未収会費、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めている。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金	505,647	1,677,843
普通預金	7,823,108	7,433,723
未収会費	2,148,000	899,000
未収金	664,500	420,000
前払金	28,970	19,090
仮払金	0	72,070
合計	11,170,225	10,521,726
未払金	585,537	531,041
前受金	945,000	9,000
預り金	22,092	23,568
未払法人税等	183,500	126,600
合計	1,736,129	690,209
次期繰越収支差額	9,434,096	9,831,517

法人名：社団法人 埼玉県放射線技師会

附属明細書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
その他固定資産	建物	8,349,155	0	930,888	7,418,267
	什器備品	157,857	41,522	111,980	87,399
	土地	13,155,850	0	0	13,155,850
	その他固定資産計	21,662,862	41,522	1,042,868	20,661,516

平成 23 年度監査報告書

私たちは、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会定款 22 条に基づき、平成 24 年 4 月 24 日 18 時から本会技師会センターにおいて、会長、副会長、総務担当常任理事及び財務担当常任理事の立ち会いの下で、本会の平成 23 年度事業執行並びに財産状況について監査を実施しました。

本監査報告書を作成し、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

- (1) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの事業報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、事業執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、財務諸表並びに収支計算書の正確性を検討しました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告書は、昨年度の社団法人埼玉県放射線技師会の事業・運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (3) 理事の職務執行に関し、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項は認められません。

3 その他意見

本会のさらなる発展のために、監査結果の補足として述べさせていただきます。

- (1) 最初に、長年にわたり準備を進めてこられた本会の重大事業の一つである公益社団法人格を取得されたこと、こころより感謝と敬意を表したいと思います。
- (2) 次に会計監査での印象を述べさせていただきます。監査結果は上述のとおりです。またその内訳につきましても、昨年度指摘させて頂いたような予算額を大幅に超過した事業が認められなかったことから、適切な事業・運営の状況を確認することができます。

厳しい財務状況の中で事業を展開してゆくことは容易なことではありません。本会の運営は会費が資金源になっていることは言うまでもなく、そのための入会促進は本会にとって重要な事業であります。新卒者に対して毎年実施されているフレッシューズセミナー（SARL セミナー）は今回で 14 回目の開催でありました。本セミナーは新卒者に技師会活動を理解して貰い入会を勧める意味において、大いに期待するところであり、今後とも継続して頂きたい事業であります。

埼玉県内の診療放射線技師の日本放射線技師会への入会率は 7 割弱とっておりますが（日放技データ）、本会会員で日本放射線技師会に未入会の会員に対する入会促進キャンペーンは、今年の新規事業として大変に評価するところであります。今後は技師会未入会の既職者に対する入会促進と併せて、会員獲得事業の展開が必要であると思います。

- (3) 会員の誰もが参画できる技師会の構築が望ましく、そのためには地区会の活動が重要であります。理事会での各地区理事の報告を伺っても、その積極的な活動ぶりに敬服いたします。

特に、県内各地域の自治体が主催する『健康祭り』への参加は、医療放射線の安全性・有効利用の啓蒙活動として評価されるものであります。また、この度の公益社団法人格の申請に際しても審査官から高い支持を頂いた事業であります。益々の活躍を期待しております。

- (4) 公益活動は、これまでは志木市を中心に展開していた被ばく相談を県内各地に拡大し、相談件数も増えた旨の報告を頂いております。この被ばく相談は、本会の活動のみならずわれわれ診療放射線技師に求められている責務

であります。これまで蓄積されたQ&Aをデータベース化して、会員個々の共通した知識装置として活用できるようなシステムの構築が望まれます。

学術大会に併設して同時開催された市民公開講座も市民から好評を得た旨の報告を伺っております。上述した地区会における公益活動と併せて、公益社団法人として直接的に市民に対する利益の増進を寄与する活動部隊であり、益々の活躍を期待しております。

- (5) 本会会誌『埼玉放射線』の発行及びウェブサイトでの発信は、編集担当をはじめ関係各位の尽力によって、読み応えのある誌面作りがなされております。特に学術関連企画は、医療現場と密着した学術資料として高い評価であると思います。

公益社団法人格の申請に際して、監督官庁からの指導でにわかには公益的内容と共益的内容の分離化が余儀なくされた事案に窮しても、迅速に対応されたことを伺っております。今後益々公益性と共益性を兼ね備えた情報の発信源として進化して頂きたいと思っております。

- (6) 学術大会は本会最大のイベントであり、毎年志向を凝らして綿密な準備の基で開催されております。今回も過去最大の演題数が集まり、大勢の会員が参加するなかで活気に満ちた大会であったことは非常に評価されるものであります。一方、今回の大会テーマ『START TODAY』は、東日本大震災から1年が経過したことから理事会の承認の下で命名されたものでありますが、その意味付けがやや困難なプログラム編成であったことが残念でなりません。監査時にその旨を含めて小川会長に伺いましたところ、今後は実行委員会の組織改革及び年度をまたがった十分な準備期間を設けて学術大会に臨むとの回答を頂きました。今後の学術大会の展開戦略に期待しております。

昨年度は参加者の低迷を指摘させていただきました認定講習会（胸部、上部消化管、CT）は、今年度は開催日や講習内容の一部変更などで参加者増加の目的を達成できたこと、さらに新企画としてMRIセミナーを実施して、好評を得たことは非常に評価されるものであります。

- (7) 小川清会長は昨年度より日本放射線技師会副会長を兼務されております。この度の監査時に、会長に意地悪な質問を投げ掛けました。もし、名刺を一種類しか作る事ができず、そこに役職名を併記しなければならない場合、どちらを先頭にしますか？『埼玉県診療放射線技師会会長』ですか？それとも『日本放射線技師会副会長』の肩書きですか？

本会の会長が上部団体の要職を兼務されていることは、本会と上部団体との強力な架け橋となり、参画、連携、共催、協賛、協働、さらに具体的な事例までも挙げれば枚挙に遑がない効果が期待できます。また、教えてデメリットを挙げてみますと『身体は一つしかない』で、言い尽くされるのではないのでしょうか。3月の予算総会の欠席がこの事例に当て嵌ることになるかと思えます。会長ご自身としてもいずれも重要な責務故、決断する上で相当悩まれたのではないかと察します。このデメリットが相殺されるような組織のさらなる団結力を期待しております。

- (8) 最後に、『小粒でもピリッと辛い山椒の実』の如く本会への心象を抱き、さらなる飛躍を望みつつ、一言居士に徹して口うるさい監事に努めて参りました。事あるごとの（一方的な）苦言に苛み甚だ不愉快な感情を抱き、嘆いた役員の方々のような想像に難くありません。監事の職域上難しいことだと思いますが、審議中及び審議後を含めて自由な回答の時間がもたれることを期待するとともに、さらなる開けた技師会運営を嚆矢いたします。

以上、平成 23 年度の事業・運営について若干意見を述べさせていただきました。誌面の都合で掲げなかった事業につきましても適切に実行されたことを確認しております。

平成 24 年 5 月 24 日

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会

同

監事

山本英明 

監事

鈴木正人 